

J R 東海 労申 第 5 号  
2 0 1 8 年 6 月 1 1 日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海労働組合  
中央執行委員長 木下 和樹

### のぞみ 265 号殺傷事件に関する緊急申し入れ

マスコミによると、6月9日22時頃、新横浜、小田原間走行中ののぞみ265号の車内で、男が凶器となる刃物で3名の乗客に対して殺傷する事件が発生し、男性旅客が死亡、2名の女性旅客が軽傷を負ったと報道された。

過去に列車火災事件や刃物事件が起きた中で、防犯カメラを設置するなどの対策が行われてきた。しかし、今回の新幹線車内での殺傷事件は、この間の対策では乗客・乗務員の安全及び生命が守れないことが明らかになった。

従って、下記の通り新幹線車内における乗客・乗務員の生命と安全を確保するために緊急申し入れを行うので早急に団体交渉を開催すること。

### 記

1. のぞみ 265 号で発生した殺傷事件を時系列で明らかにすること。また、車掌及び J R C P 社員の行動を明らかにすること。
2. のぞみ 265 号で発生した殺傷事件に対して、会社の見解を明らかにすること。
3. この間会社は、車掌 2 名、パーサー 2 名体制で安全は十分に確保できると主張してきたが、今回殺傷事件が発生し、この間の主張について会社の見解を明らかにすること。
4. のぞみ 265 号で発生した殺傷事件に対して、乗客・乗務員の生命と安全確保が何よりも大事であると考え、会社の再発防止策を明らかにすること。
5. 新幹線車内における乗客・乗務員の生命と安全を確保するために、早急に車掌を 3 名体制に戻すこと。
6. 新幹線車内における乗客・乗務員の生命と安全を確保するために、早急に全乗務員に対して訓練を実施すること。
7. 今回の殺傷事件における乗客・乗務員に対するカウンセリングが必要であると考え、会社の見解を明らかにすること。

以 上